

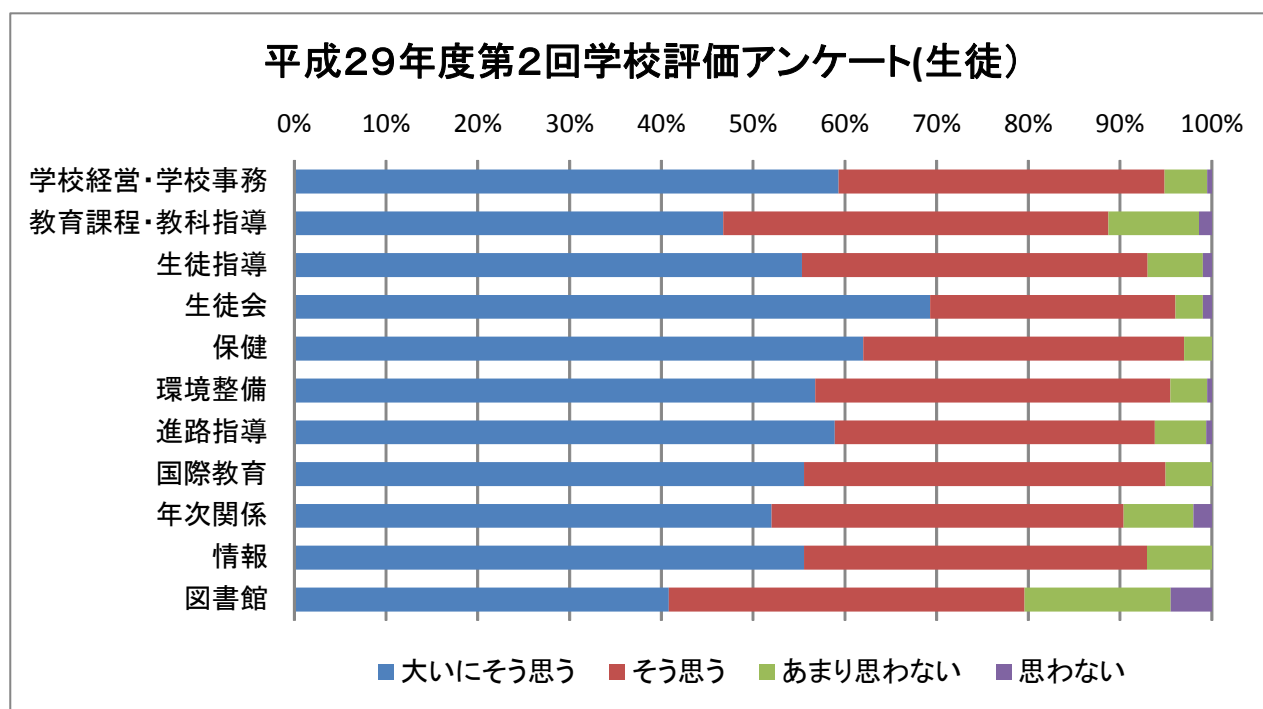
## 1 学校評価の方法

- 時期 平成29年7月（第1回）及び12月（第2回）
- 評価者 生徒、教職員及び保護者
- 方法 学校改善・点検シートにより達成度を4段階で評価する。

## 2 第2回学校評価結果（平成29年12月実施）

### （1）生徒アンケート結果の概要について

- 対象生徒数：700名
- 回収者数：694名（回収率：99.1%）
- 質問項目数：32
- 質問項目を評価項目ごとに分類・集計した結果は次のとおり。



※ 調査項目32項目で、肯定的な評価の平均は92.0%（昨年比 +4）

※ 全ての項目で、7月の中間評価時点よりも肯定的な評価の割合が増加した。

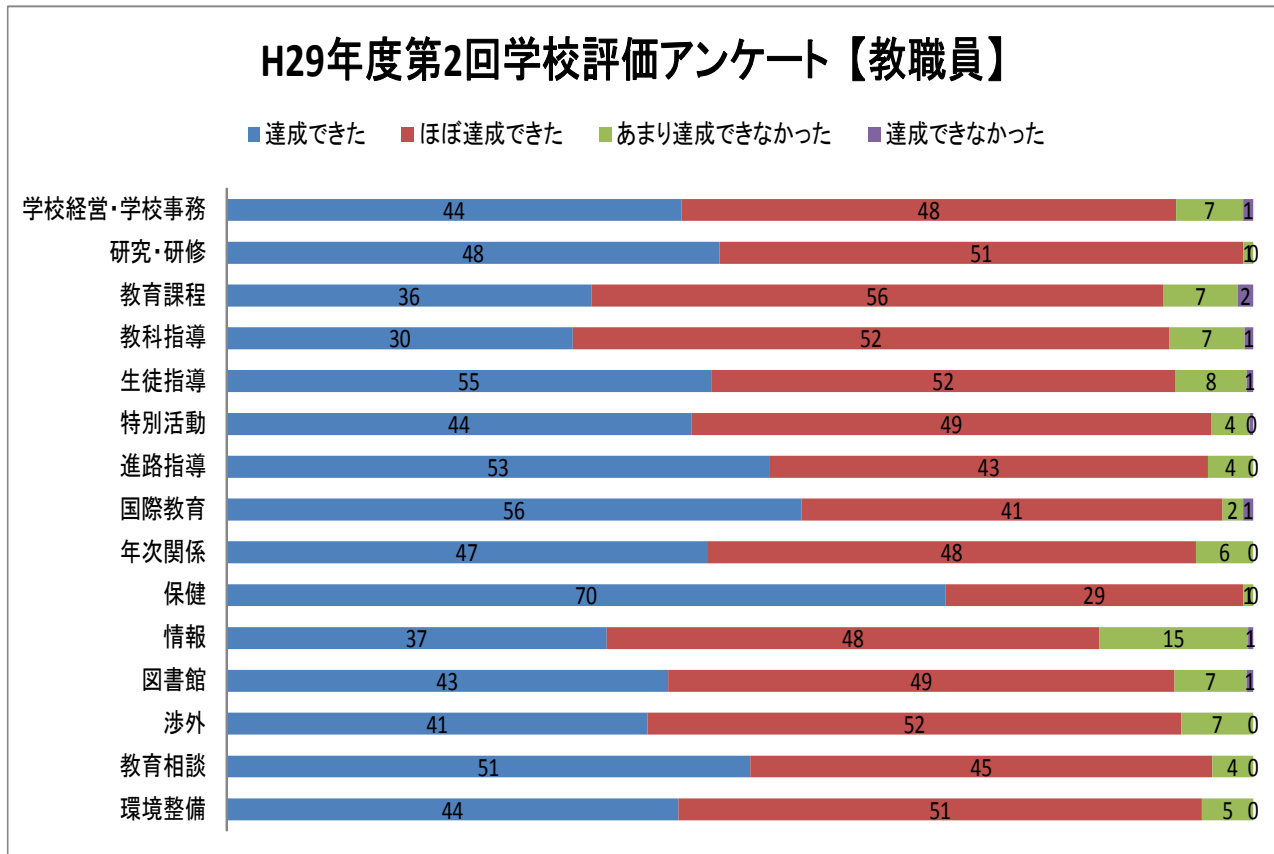
- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肯定的な評価が特に高い項目（95%以上）</li> <li>・ 学校で地震や火災などの災害が起こった場合の行動の仕方について、具体的に知らされている。</li> <li>・ 命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育成している。</li> <li>・ 教室・特別教室・運動場や体育館などは、良く整備されている。</li> <li>・ SSHの活動により、理数系の教科・科目への興味・関心が深まった。<br/>（SSH所属の生徒のみ回答）</li> <li>・ 本校では生徒の自律性、自主性が尊重されている。</li> <li>・ 学園祭等の生徒会行事が、自主的に企画・運営されている。</li> <li>・ 生徒の心身の健康に関する指導が行われている。</li> <li>・ 本校では、環境美化・清掃活動が積極的に行われている。</li> <li>・ ゴミの分別、節電・節水など環境教育の適切な指導が行われている。</li> </ul> | <p>今年（昨年比）</p> <p>97% (+4)</p> <p>97% (+3)</p> <p>97% (+3)</p> <p>97% (+1)</p> <p>95% (+5)</p> <p>97% (+3)</p> <p>97% (+5)</p> <p>95% (+3)</p> <p>95% (+3)</p> |
|--|--|

- ・進路意識を高めるため、講演会の設定やオープンキャンパス情報の提示が有効になされている。 95% (+2)
  - ・自習室は放課後等の自主的学習活動に役立っている。 95% (+11)
- 肯定的な評価が低かった項目 (80%未満)
- ・図書館がHR活動や授業で有効に活用されている。 73% (+5)
- 生徒自己評価において肯定的な評価が高い項目 (90%以上)
- ・今学習している教科・科目が、自分の個性や進路に合っている。 90% (+3)
  - ・多くの授業は、自分自身の学力に合っている。 90% (+5)
  - ・実験、実習、体験学習を取り上げた授業は楽しい。 93% (+6)
  - ・日頃からよくあいさつしている。 97% (+2)
  - ・8時25分には着席している。 97% (+1)
  - ・授業開始のチャイム席を守っている。 96% (+1)
  - ・校則をしっかりと守っている。 98% (+5)
  - ・携帯・スマホ等の情報モラルについて日頃から気をつけている。 98% (+2)
  - ・携帯・スマホ等の使用ルールを守っている。 97% (+3)
  - ・交通安全について、規則を守るよう心かけ、安全に配慮している。 99% (+4)
  - ・学園祭などの学校行事に積極的に参加し、活動している。 97% (+4)
  - ・自分自身の健康に関心を持ち、日常的に気をつけている。 95% (+4)
  - ・学校の施設を大切に使っている。 98% (+2)
  - ・環境美化・清掃活動に積極的に取り組んでいる。 95% (+4)
  - ・節電・節水などエコ活動に積極的に取り組んでいる。 95% (+4)
  - ・日頃の学習をサポートするために、課外・補習・サタデーサプリーなどに参加している。 95% (+4)
  - ・朝の読書やコラム学習にきちんと取り組んでいる。 95% (+5)
  - ・パソコンなどの情報機器を決められた使い方を使用している。 96% (+10)
- 生徒自己評価において肯定的な評価が低かった項目 (75%未満)
- ・授業では積極的に自分自身の考えをまとめたり発表できる。 74% (+2)
  - ・Classiを積極的に活用している。 56% (new)
  - ・授業の予習・復習は、しっかりと行っている。 71% (-7)
  - ・家庭学習時間は、年次+1時間程度を実行している。 57% (-3)
  - ・進路意識を高めるための講演会やオープンキャンパスに等に進んで参加している。 70% (-1)
  - ・図書館で本を借りたり、教科学習や総合的学習のために有効に活用している。 63% (-8)

## (2) 教職員アンケート結果の概要について

- 対象教職員数：48名
- 回収者数：47名（回収率：97.9%）
- 質問項目数：59
- 質問項目を評価項目ごとに分類・集計した結果は次の通りである。

### 【教職員アンケート】



※ 調査項目59項目のうち、肯定的な評価が95%以上の項目は32（昨年40）であった。

※ 調査項目59項目のうち、肯定的な評価の平均は93.4%（昨年比-0.5）

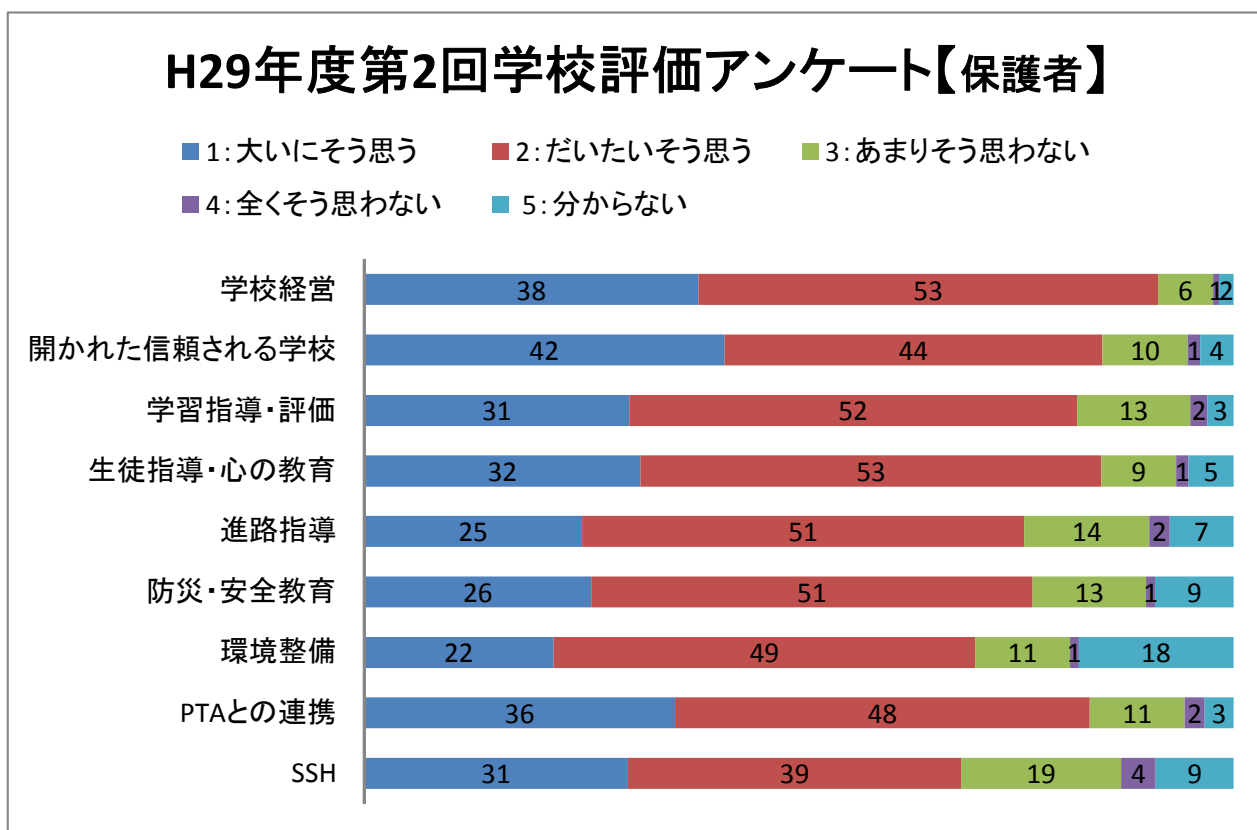
○ 特に肯定的な評価が高い項目（95%以上）

- ・校長のリーダーシップが発揮されている。 96% (0)
- ・指導重点への取り組み、教育目標が実現されている。 98% (0)
- ・教職員全体の服務規律への自覚が高い。 98% (-2)
- ・事故・事件・災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう  
訓練などを行い、役割分担が明確化されている。 100% (0)
- ・個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システム  
が確立している。 95% (-3)
- ・長期的見通しに立って、施設・設備の点検・維持・管理が行われ  
ている。 98% (+2)
- ・知識・技能の修得に加え、思考・判断・表現の育成に努めている。 98% (-2)
- ・評価基準を明確にし、生徒の学習状況を適切に評価している。 98% (+4)
- ・指導力を高めるため自己研修・研究を行っている 96% (+1)
- ・全校集会・年次集会・HRの他、あらゆる機会を通して、生徒の  
規範意識を育てている。 98% (0)

- ・エイズ・薬物乱用防止などの健康問題について、専門機関との連携を図り、講演会などを実施している。 96% (-4)
  - ・大規模災害を想定した防災訓練を実施し、生徒の防災意識を高めている。 100% (+2)
  - ・交通安全教育については、関係機関（警察・教習所など）と連携を図りながら、日常的に指導を行っている。 100% (+6)
  - ・「いじめ防止」に対する指導が、全教職員の共通理解のもと、計画的に実施されている。 96% (0)
  - ・入学式・卒業式・全校集会など儀式的行事を通し、学校の一員としての意識を自覚させている。 98% (0)
  - ・リーダーの育成が組織的に行われている。 96% (-4)
  - ・部活動や各種委員会の活動が活発に行われている。 96% (-4)
  - ・進路意識高揚のため講演会の設定やオープンキャンパス情報の提示が有効になされている。 96% (-4)
  - ・模擬試験の結果報告が、円滑になされている。 96% (-2)
  - ・三者懇談及び個別面談を通じて、進路指導を適切かつ十分に行っている。 98% (0)
  - ・自習室は、放課後等の自主的学習活動に役立っている。 96% (-2)
  - ・英国姉妹校への生徒の送り出し、受け入れが円滑に行われている。 98% (-2)
  - ・留学等に関する情報提供が十分になされている。 96% (-2)
  - ・年次内の係分担が適切に行われている。 96% (0)
  - ・年間を通じて学校生活に対する適切なガイダンスを行っている。 98% (+2)
  - ・家庭との連絡や三者懇談等を通して、相互理解が図られている。 98% (-2)
  - ・保健室が学校の健康管理センターとして機能し、生徒の実態や情報の共通理解がなされている。 100% (0)
  - ・生徒が健康について問題意識をもつような指導がなされている。 98% (-2)
  - ・図書を選定にあたっては、生徒の意見が反映されている。 96% (0)
  - ・図書館の利用に向けて、読書案内が十分行われている。 96% (0)
  - ・心に問題をもつ生徒の支援体制が整備されている。 100% (+4)
  - ・学校の環境美化に向けて、日常の清掃活動をきちんと行っている。 96% (+2)
- 肯定的な評価が低かった項目（80%未満）
- ・教職員が悩みなどを気軽に相談できる雰囲気がつくられている。 69% (-6)
  - ・シラバス・学習計画表を履修ガイダンス及び学習指導に対し、効果的に活用している。 75% (-6)
  - ・Classi や FINE 等の教育情報コンテンツを有効に活用している。 79% (new)
  - ・授業等で ICT を有効に活用している。 79% (new)
- ◎ 昨年より肯定的な評価が10%以上上昇した項目
- ・SSH の活動は広く認識され、地域や保護者に関心が持たれている。 94% (+12)
  - ・SSH の取り組みが、学校の活性化に活かされている。 91% (+26)

### (3) 保護者アンケート結果の概要について

- 対象保護者数：700名
- 回収者数：657名（回収率：93.9%）
- 質問項目数：29
- 質問項目を評価項目ごとに分類・集計した結果は次の通りである。



- ※ 調査項目29項目のうち、肯定的な評価が85%以上のものは13項目（昨年12）であった。
- ※ 調査項目29項目のうち、肯定的な評価の平均は82.0%（昨年比+1.8）

- 特に肯定的な評価が高い項目（90%以上）
  - ・学習活動・学校行事・部活動等において特色ある教育を行っている。 93%(+1)
  - ・学校行事が計画的に行われている。 95%(+1)
  - ・本校では、心身ともに健康な生徒の育成に努めている。 92%(+2)
  - ・お子さんは、明るく充実した学校生活を送っている。 93%(+3)
  - ・本校のPTAは、学校行事や生徒指導に協力している。 94%(+4)
  - ・本校のホームページやブログの存在を知っている。 93%(+1)
  - ・お子さんを本校に入学させて良かったと思う。 92%(0)
- 肯定的な評価が低かった項目（80%未満）
  - ・学習課題に積極的に取り組んでいる。 78%(+1)
  - ・避難防災計画を生徒や保護者に分かりやすく伝えている。 67%(+4)
  - ・本校では同じ歩調で生徒指導を行っている。 74%(0)
  - ・生徒理解に努め、自主性・自律性を高める指導を行っている。 79%(+1)
  - ・ゴミの分別など環境教育の視点から適切な指導が行われている。 71%(-1)
  - ・積極的に生徒・保護者が必要としている進路情報を提供している。 76%(+2)
  - ・進路に指導の年間計画を分かりやすく説明している。 73%(-1)
  - ・進路講演会、大学等の説明会・見学会への参加促進を適切に行っている。 78%(-1)

・学校からの通知や案内などの配布物は手元に届いている。	74% (+6)
・お子さんと担任や年次の先生との信頼関係が出来ている。	79% (-2)
・SSHの研究指定は、日川高校の魅力の一つになると思う。	76% (+3)
・日川高校のSSHの活動について、興味・関心がある。	62% (+1)

### 3 学校評価考察

生徒、保護者及び教職員の学校改善に関するアンケート結果より、本校の生徒は全般的に、学校生活に対して、真面目にそして前向きに取り組んでいると言える。学習面においては、授業への意欲や関心が高いことが窺えるが、その一方で、家庭での目標学習時間が確保できていない生徒が約4割いる。家庭学習の時間の確保については、新しく導入したClassiの活用等を起爆剤に、学校と家庭が連携して指導に当たる必要があると考えている。学習計画を活用したり、授業の予習・復習を習慣化するなど、学習に対する主体性を育んでいく必要もある。進路面では、情報を活用しようとする姿勢はあるが、オープンキャンパスや進学説明会への参加を通して情報を入手する等、具体的な行動につながらない生徒も多い。このことはキャリア教育を進める上での課題であると考えられる。

保護者が教育活動に高い関心を持ち協力的であることは、教育活動を進める上で大きな推進力となるものである。保護者との強固な信頼関係を築くためには、校内の情報を積極的に公開するなど、開かれた学校づくりが欠かせない。保護者との情報を共有するために、学校では教育活動についてホームページやブログ、学年だより、広報紙「紫風」等をとおして情報を提供している。ブログの開設と共にホームページの閲覧数も増加している一方で、相変わらず配布物が保護者の手元に届かないことが指摘されており、注意しなければならない。

今年度から二期目に入ったSSHについては、対象を全校に拡大していくという方向性のもと、教科SSHでの取組や1年次生全員による課題研究（SSI）などに取り組んだ結果、生徒の興味関心を高めることにつながっている。しかし、生徒や保護者がSSHの教育効果を充分実感するところまでは未だ至っていない。第一期のSSHの取組について批判的に検証し、二期の企画に反映させると共に、その周知については今後も努力が必要である。

本校では、アクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業改善に取り組んでいる。一斉授業オンリーの授業形態から脱却し、アクティブ・ラーニングにより「主体的・対話的な深い学び」を実現し、学習効果を高めることをねらいとするものである。この実践が、生徒にとって「分かりやすい授業」につながっていることがアンケート結果から読み取ることができる。しかし、「深い学び」につなげ、新しい評価尺度に対する学力の向上を実現するには、各教科でさらなる研究を要す。

教職員については、不登校や多様な生徒への対応など負担も大きくなっており、多忙化の改善を含めメンタルヘルスについて注意しなければならない。アンケート結果から「悩みなどを気軽に相談できる雰囲気を作られている」について肯定的な回答が減少しており、改善が必要である。

保護者は学校の教育活動への関心が高く協力的であり、教職員も本校の教育目標・指導重点を良く理解し、教科指導・生徒指導・進路指導及び部活動指導に熱心に取り組んでいる。これらの強みを活かしながら、質の高い教育活動を展開するために、生徒に高い目標を持たせ、それを実現させる指導を推進していく必要がある。さらに、本校は今後も地域の知の拠点として、中学生にとって魅力ある学校であり続けなければならない。特色を活かした教育活動を継続し、地域との信頼関係を揺るぎないものにしていくことが求められている。

## 4 課題と改善に向けて

### (1) 課題

- ① 生徒
  - ・家庭学習時間の確保について
  - ・主体的かつ計画的な学習への取組について
  - ・Classiの有効活用について
  - ・言語活動の充実について
  - ・図書館の有効活用について
- ② 教職員
  - ・アクティブラーニングの視点からの授業改善
  - ・Classiや大型テレビなどの教育情報機器の有効活用について
  - ・生徒の進路意識の高揚について
  - ・学校活性化につながるSSHの取組について
  - ・教職員の多忙化改善とメンタルヘルスについて
- ③ 保護者
  - ・学校と家庭が連携した生徒指導について
  - ・防災計画の周知について
  - ・進路情報の提供や進路計画の説明について
  - ・学校等からの配布物の取扱いについて
  - ・保護者へのSSHの取組の周知と理解について
- ④ 学校評議員・・・別紙

### (2) 改善に向けて

- ① 確かな学力、資質・能力の育成
  - ・生きて働く「知識・技能」の習得
  - ・課題解決のための「思考力」・「判断力」・「表現力」の育成
  - ・及び学びに向かう力、人間性等の涵養
- ② 授業改善、授業力向上、ICTの活用への取組
  - ・アクティブ・ラーニングの視点に基づく授業改善
  - ・生徒の変容を図る評価についての研究
  - ・Classiや大型テレビの活用法の研究
- ③ 家庭学習時間の確保に向けた取組
  - ・下校時間の厳守
  - ・時間の管理を意識させた取組
  - ・課題についての検討
  - ・シラバス、学習計画表の活用の工夫
- ④ SSHの取組
  - ・教育課程編成の工夫
  - ・課題研究（SSI、SSII）への取り組み

- ・自ら課題を発見し、他と連携して解決を図る探究的な活動の実践
- ・SSH活動の広報

⑤ 進路指導について

- ・将来を見据えた進路指導の実践
- ・教科、年次の連携した情報の共有
- ・入試問題研究
- ・進路指導に関する教職員対象の研修会実施
- ・全校態勢による小論文、面接指導の実践
- ・保護者対象進路講演会の工夫

⑥ 生徒会活動について

- ・部活動数の削減に向けた検討
- ・応援団の団員の確保
- ・文武両道を実現する合理的な練習、指導計画の研究
- ・生徒、保護者、同窓生及び県民の期待に応える成果
- ・地域のボランティア活動への参加

⑦ 信頼される学校を目指して

- ・安全で安心した学校生活を送ることができる学校づくり（危機管理の徹底）
- ・学校と家庭との連携による生徒指導の実践
- ・教育活動の保護者への周知

⑧ その他

- ・先進校の視察の励行
- ・広報活動の充実
- ・学校ホームページのさらなる魅力化
- ・学校紹介ビデオ・学校パンフレットのさらなる工夫
- ・「紫風」、「学校新聞」、「各種便り」等の発行